

# 大館の歴史散歩

## 大館の近代化とその遺産(序)

近世大館の主産業は、米を主とした農業と秋田杉を主とした林業、そして地域内に散在する鉱山業であった。

これらは近世秋田の主産業でもあって、秋田・能代の港から移出され、大阪の間屋を通じて全国の市場商品としての地位を確立していた。

大館のこれら産物は、米代川の舟運によって能代港へ運ばれ、返り舟は日常生活品などを大館にもたらした。近世大館の産業交通そして社会生活は、以上の状況によって保たれていた。

戊辰戦争の苦難を乗り越えて秋田地方は近代明治を迎えるが、社会状況は近世のそれと大きく変わることはなかった。そうした中、収入を失った武士たちの生計を助けるための授産事業で、養蚕・製糸・印刷・土木・開墾などに近代的西洋技術の導入が積極的に図られた。

農業では、地域の老農・篤農家による乾田馬耕・土地改良・品種改良・馬産改良などの近代化に向けての各種事業が取り組

まれた。

秋田県で最も近代化が図られたのが、明治新政府の国策である富国強兵策に合致した鉱山であった。政府は明治初年からイギリス・アメリカ・ドイツなどから鉱山技師を招いて技術指導を受け、機械化を図るなど、近代化を促進した。

林業もまた、近世以来の秋田の主産業であり、その伝統ある林産地の大部分が国有林に編入され、製材業の機械化が促進されて、明治中期に秋田林業の発達をみた。

このような産業の近代化が進むと、必然的に運輸・通信、特に輸送交通の近代化と発電・電力事業に力が注がれた。

秋田県における鉄道と発電の最初の事業は、北鹿地方から始まった。秋田県初の水力発電は明治三十年(一八九七)の小坂鉱山の銚子発電所。秋田県を縦貫する奥羽本線が全線開通したのは明治三十八年であるが、その第一歩は明治三十二年(一八九九)に矢立峠の天険を越えて

大館に記された。矢立峠に残る「奥羽本線矢立トンネル」はその歴史の証人であり、開通当時の姿を残す貴重な遺産である。

大館の近代化は、奥羽本線の開通によって急激に加速された。しかし、その反面失ったものも大きく多かった。その一例が鉄道開通まで大館の玄関口であった舟場である。県北地方の大動脈であった米代川の舟運は、鉄道の開通によってその任務を終え、舟場の姿も消えた。

私たちは、一年間にわたって大館地方の近代化の足跡を、現在残っている建造物やいろいろな施設を見ながら紹介していきたいと考えている。

市役所史跡探訪会

### 私の本棚

中央図書館新着図書

#### 『日本の風景を歩く』

井出 孫六 著 大修館書店

沖縄の古城、牛久沼・越前一乗谷など、その土地の人間・風土を独特の語り口によって伝える紀行文集。日本の原風景がかもしだす匂いまでもが伝わってくる。



◇夜の哀しみ[上・下] (三浦哲郎) ◇ペリカン文書 (J・グリシャム) ◇海がきこえる (氷室冴子) ◇伊勢エビの丸かじり (東海林さだお) ◇ソ連解体後 (小川和男) ◇晴れてもパイプのけむり (團伊玖磨) ◇大陸をかけるエイラ[上] (ジーン・アウル) ◇妖櫻記[上・下] (皆川博子) ◇カナダ・ライフ (池内光久) ほか

◇公園でできる身近な自然観察 (文研出版) ◇かこさとしあそびの大星雲 (かこさとし) ほか

- 4月のテーマ関連図書コーナー 「図書館を知る」
- 親子読み聞かせ会 毎月第1金曜日 午後2時30分から
- 中央図書館の休館日 4月18日、22日、29日、5月3日～5日

### クイズ 広報 おおだてがヒント

- ▽問題
- ①秋田職業能力開発短期大学校開校! 入学者数は何人?
  - ②市立総合病院に最新の放射線治療装置を設置。その名前は?
  - ③山田記念ロードレース大会、中学男子のスタート時刻は?
  - ④93大館桜まつりはいつからいつまで?
  - ⑤ラジオ体操開始大会は4月何日?
- ▽応募方法
- はがきに住所、氏名、年齢、性別、答え(例) ①—( )—を書いてご応募ください。イ
- ▽3月16日号の答え
- ①6年度
  - ②×
  - ③91日
  - ④4月20日
  - ⑤角力
- ▽3月16日号の答え
- ・能登由美子さん(南ヶ丘)
  - ・地元穀さん(天下町)
  - ・加藤亜紀子さん(獅子ヶ森)
  - ・近藤正敏さん(塞ノ神)
  - ・保坂真理子(中道3丁目)
- ※応募総数61 全問正解54
- ラストなども大歓迎です。
- ▽締め切り 4月28日(水) 当日消印有効
- ▽応募先 〒017大館市宇中城20番地 広報おおだてがクイズ係
- ※全問正解者の中から抽選で5人に、秋田犬のオリジナルレホンカードを贈ります。